

TOP Interview

三協警備保障株式会社 専務取締役 森田亮氏にお話を伺いました。

三協警備保障株式会社

所在地 北九州市小倉北区東篠崎一丁目4番25号 三協ビル

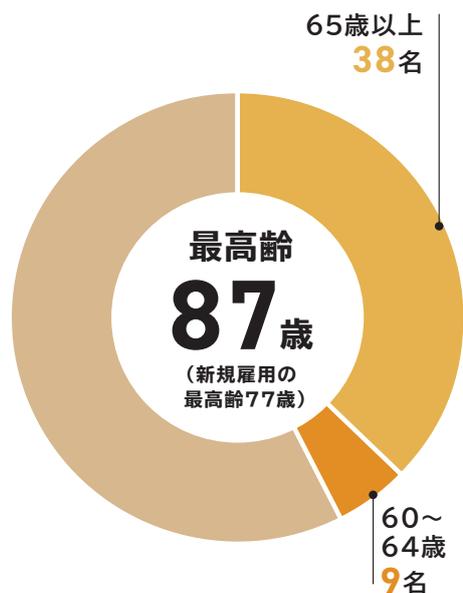
業種・事業内容 警備業

設立 平成元年(1989年)3月

定年制 65歳定年、70歳まで継続雇用、年齢制限なし



専務取締役
森田 亮氏



Point

- ☑ 70歳以上の高齢従業員が多数在籍
- ☑ 柔軟な勤務形態・休暇制度によるワークライフバランスの充実
- ☑ 充実した研修と資格取得に対する支援

三協警備保障株式会社



企業の沿革、特徴、理念

— 御社の沿革や事業についてお聞かせください。

平成元年3月に設立し、本年で35周年を迎えるところでありますが、令和4年11月に二代目の代表取締役へ事業継承された会社でございます。

弊社では、施設警備業務・雑踏・交通誘導警備業務を主たる警備業務として事業を展開しています。

— 映画撮影等の撮影警備もされているとお伺いしました。

北九州市内で弊社でしか経験できないことだと思っておりますが、市をあげて「映画の街 北九州」として映画撮影や映像制作の誘致を積極的に行っており、弊社も制作会社から業務のご依頼をいただいております。制作会社に、撮影に専念していただくためにも警備計画・規制計画・警備運営の一切を弊社で請け負っております。

本業務は大変特殊で撮影状況によっては都度異なった警備方法のため、道路封鎖のための車両誘導・人の往来が多い街中で案内を行ったりと、社員もすごく良い経験をさせていただいております。

— 企業理念や経営方針をお伺いします。

事業継承が行われ約2年、代表の方針として古き良きものは継承し、時代とともに変化しつつある新しき

良きものを取り入れ、今までの「警備」のイメージを「SECURITY」に変革するなど、イメージを新たに刷新する取り組みを行っています。

警備業の定着したイメージをどのように変革させるのかを平成20年に考えた時には他社と違うことをしたいとの思いから「ピンクの制服」を導入、その際には現在の代表も「警備はこうあるべきだ」と制服の型式にはこだわりを崩せずでしたが、現在の改革は、夏はTシャツ、秋春にはパーカー、冬はコーチジャンパー・MA-1を着用、「かっこいい」といっていただけるようなものを試行錯誤しつつ、年齢を問わずその服を着て仕事をしたいと言わせるようなことも考えています。

シニア人材の雇用

— シニア人材の雇用に至った経緯をお聞かせください。

人手不足はどの業界でも各企業の抱える悩みです。弊社は、原則3時間という短時間勤務があるため、シニアも体力的に働きやすい環境を構築しています。

今、企業は若者の雇用を求め、当然弊社も若者の雇用を求めています。前述のようにシニア雇用も積極的に行えるよう今後も力を注ぎ続けたいと考えています。

三協警備保障株式会社

- シニア人材を雇用する際の、
求める人物像をお聞かせください。

原則3時間の短時間勤務であります。そのクライアント先の状況としましては、場を弁えた言動が大変求められる場所でございます。そのため、個々人が最善を尽くしていても「十人十色」という言葉があるように、厳しいご意見をいただくこともございます。

面接の際には、その場に沿うかどうか、言葉使い、行動、礼節、コミュニケーション力等は重視させていただいております。

- 採用される方のほとんどが
定年退職された方たちだとお伺いしました。

原則3時間勤務の方々の大半は定年を迎えられ第2、第3の人生を歩まれてる方々です。

- 再雇用の方の場合、定年前に、
継続雇用に関しての面談はありますか。

はい。ほとんどの方が継続して働かれないとおっしゃられます。

- 募集の方法をお伺いします。

ハローワークからのご紹介、企業説明会、その他雇用に関しての行事には多数参加させていただいております。

一般的な警備業のイメージを払拭するため、弊社独自の資料・映像・写真等多く使用し、お越しいただいた方々へ直接お話しすることによって弊社の強みや働きやすさをPRしています。

- シニアの方たちの業務内容をお伺いします。

葬儀場における駐車場での誘導業務が主たる業務となります。体力に自信をお持ちのシニア世代の方はフルタイムで働かれる方もいらっしゃいます。フルタイムを希望したがやはり体力的に厳しいと感じられ、原則3時間勤務のほうへ配属異動を希望される方もいらっしゃいます。

弊社では年に2度の個人面談を実施しているため面談の際にはご本人の希望をしっかりと聞きながら希望に添うよう労働環境の整備に努めながら働きやすい環境に最善を尽くしています。

- 報酬制度についてお聞かせください。

各種手当、その他資格取得による報酬制度を設けています。

- 研修についてお伺いします。

少し堅い感じになってしまいますが、警備業法で定められた法定教育として採用後は、新任教育を4～5日程度受講していただきます。そのうち3日間は法令関係や警備業務の専門的知識を学び、4・5日目は実際の現場へ教育担当者と一緒に実践的教育を行います。

その後は、教育担当者又は警備士を統括する部署に所属する者が、指導のため巡察を行いながら1人前のプロの警備士に導くよう指導教育体制も充実させております。



三協警備保障株式会社

— 業務上のフォロー体制についてお伺いします。

受注状況にもよりますが、基本2名以上の配置が多いため先輩方と共に勤務をしていながら慣れていくと思います。時として1名配置の場合もありますが、1名配置の可否については、自己判断ではなく統括部署の判断とさせていただきます。

— 現場に行かれている方たちがほとんどだと思いますが、コミュニケーションはどのように取られていますか。

弊社では会社と働く方々とのコミュニケーションや服装の管理を行うためにも原則、直行直帰を禁止とさせていただきます。

また、統括部署が現場へ赴くことで現場の声が届きやすい環境を構築しています。

ワークライフバランス

— 高齢になると気力体力の個人差が生じますが、仕事とプライベートを両立するための配慮・制度についてお伺いします。

ご本人の休暇希望は大原則希望どおりになるよう休暇体制は整えています。

葬儀場の場合、現場の就業状況によっては相談させていただくこともありますが、ほぼ希望どおりに休んでいただきプライベートも充実できるように心がけています。

— 勤務地を自宅から近いところへ優先的に配置してるとお伺いしました。

はい。体力面を考慮し最善を尽くした配置を行っています。



三協警備保障株式会社

健康管理

- 健康診断は実施されていますか。
労働安全衛生法に基づき年に1回必ず行っています。
- モチベーションの向上に繋がる取り組みについてお伺いします。
個々人の業務に対する取り組みによって異なりますが、資格取得を希望する場合には取得にかかる費用は全て会社が負担し、取得するための勉強を社内ですっかり行った上で合格の道へと導くようにしています。
通常の勤務での日々の変化が少ないため、ご自宅からエリア外へ配置された場合には別途手当を支払うなど、手当はしっかり充実させています。

今後の展望

- 今後のシニア人材の活用の展望をお聞かせください。
採用活動を行っていく中で、多くのシニア世代の方とお話をさせていただきますが、口を揃えて言われるのが働ける会社がなく、フルタイムになると体力面の不安もあるため3時間勤務はありがたいというご意見です。
しかしながら「警備」=大変そうというイメージを強くお持ちの方が多いので、弊社としてはシニア世代の求職者の方々と多く接する機会をどのように増やすのかを試行錯誤しながら、今後の発展に繋げていければと考えています。



STAFF Interview

取材当時
73歳か く よ し と
加来 好人さん

勤続年数 18年

入社して18年目を迎えます。入社当時はフルタイムの正社員として工事現場等で交通誘導警備業務や大型イベントでの雑踏警備業務、JR九州の列車見張業務に従事していましたが、怪我や病気をきっかけに葬儀場の駐車場警備へ配属異動をお願いし、現在では葬儀場専門の警備士として業務を行っています。フルタイムで働いているときには、イベント警備では責任者を任せていただいたりしていましたが年齢と共に若手に引き渡す意味でも現在の配属先で責任をもって業務を遂行しています。

自分の都合でお休みを申請すれば基本お休みも希望どおりいただける会社で大変働きやすいです。

私が警備業に携わることとなった初めての会社で、自分が思っていた警備のイメージとは全然違って、会社は私たち働く側のことをちゃんと見ていてくださり、更に認めてもいただけて、その結果が自身の立場や給与面で反映され、また頑張ろうと思えるすごくいい会社だと思います。

この仕事で一番大事なのは、相手に対する言葉遣いだと思います。外見でいうと服装も大変重要であります。いくら服装が綺麗でも言葉遣いが悪いと台無しです。

内外問わず普段から自分自身が第三者からみてどのように見えるのかを意識しながら仕事をするようになりました。

そんな中で「葬儀場」という場所で勤務する雰囲気の大切さ、ご参列の方々の想いを私たち警備が邪魔することのないよう意識しながら、時としてご参列の方々と会話させていただいたり大変刺激ある仕事であります。

是非一度、経験されてみてはいかがでしょうか？一緒に頑張りましょう!!!